

テーマ 富田林市内小中学校へ支援体制や支援方法を広める

課題

- 支援学級担任対象の研修
- 市内の小・中学校へ支援体制や支援方法を広めていく

具体的に取り組んだ内容・方法（他の機関との連携も含めて）

【夏季支援教育研修の企画・運営（支援学校との連携）】

- ・読み書きスクリーニングについて
- ・教具の活用
- ・教材作り
- ・iPad とアプリの活用（富田林支援学校）
- ・簡単にできる身体の弛め方（藤井寺支援学校）
- ・個別の相談会

【巡回相談（教育相談、授業観察、検査、面談等）】

- ・2, 3 人一組で市内小・中学校の巡回相談にあたる。

【市内全小学校1、2年生を対象とした読み書きスクリーニングの実施】

- ・通級指導者等連絡会・巡回相談員連絡会にて、読み書きスクリーニングについて検討を重ねる。（実施時期、採点、活用について、漢字の内容変更等）
- ・夏季支援教育研修で市内学校園の支援コーディネーター対象に読み書きスクリーニングの実施方法について研修を行う。
- ・リーディングのメンバーが分担して市内全小学校で読み書きスクリーニングを実施（10月末から11月に実施）
- ・支援コーディネーター連絡会で集計方法、支援内容についての説明を行う。
- ・次年度に向けて、反省点、改善点等について話し合う。

成果と今後の課題

【夏季支援教育研修の企画・運営について】

○市内の教職員へむけて、明日から使える支援の方法について広めることができた。

●支援学校に研修の協力を依頼することが、難しくなってきた。（出張旅費の問題）

【読み書きスクリーニングの実施について】

○予定通り、小学校全16校で実施することができた。

○市内全校のコーディネーター対象に読み書きスクリーニングの意義、読み書きのしんどさについての研修ができた。

○読み書きに課題がある可能性が高い児童を早期発見、早期支援ができた。

○結果の分析をすることで、担任、保護者の気づきと支援の必要性を確認することができた。

○その結果、個別での支援のあり方、通常の学級での支援のあり方について教職員で検討する機会を得ることができた。

●次年度の実施方法について反省点を生かすために、改善点等検討して、今後を生かしていきたい。

●読み書きに課題の見つかった児童に対して、各校での対応や支援方法・指導方法について、具体的な方法を提案できるよう計画していく必要がある。

●読み書き以外の要因も視野に入れ、個に応じた具体的な支援のあり方を模索していく必要がある。